

沖縄労働局発表  
令和5年10月10日

担 当	沖縄労働局雇用環境・均等室
	雇用環境改善・均等推進監理官 比嘉 康 (雇用環境改善・均等推進指導官 面高史代)
	電話 098-868-4380



## りゅうせきフロントラインが女性活躍推進 「えるぼし」認定

— 令和5年10月13日、えるぼし認定交付式 —

沖縄労働局(局長 西川 昌登)は、この度、女性活躍推進法に基づく「基準適合一般事業主」認定企業(えるぼし認定企業)として、今年8月、株式会社りゅうせきフロントライン(取締役社長 上運天 清)を認定しました。

県内で20番目のえるぼし認定で3段階目(3つ星)認定となります(令和5年8月16日付認定)。下記のとおり、認定交付式を行いますので、当日の取材をよろしくお願いいたします。

### えるぼし認定交付式

- 日 時 令和5年10月13日(金) 11時 ~ 12時
- 会 場 那覇第2地方合同庁舎1号館2階 大会議室  
(那覇市おもろまち2-1-1)
- 認定企業 株式会社 りゅうせきフロントライン

※ 台風襲来等によりやむを得ず中止となる場合は、沖縄労働局ホームページでお知らせいたします。

(添付資料) 女性活躍促進法に基づく認定制度及び県内のえるぼし認定企業一覧

# 株式会社 りゅうせきフロントライン

代表取締役社長 上運天 清

「基準適合一般事業主」3段階目（3つ星）

〔所在地：浦添市 / 業種：小売・卸売業 / 労働者数：485名〕



株式会社 りゅうせきフロントライン は「えるぼし認定基準（女性の職業生活における活躍の状況に関する実績に係る基準）」の5つの項目（以下①～⑤）全てを満たしています。

## 【えるぼし認定基準のうち、基準を満たした項目の実績】

### ①【評価項目：採用】

- ◆ 通常の労働者に占める女性労働者の割合が産業平均値以上〔実績：56.2% > 32.3%〕
- ◆ 通常の労働者の基幹的な雇用管理区分における女性労働者の割合が産業平均値以上  
〔グローバル社員：実績：24.5% > 22.3%〕等

### ②【評価項目：継続就業】

- ◆ 直近の事業年度において、「女性労働者の平均勤続年数」 / 「男性労働者の平均勤続年数」が雇用管理区分ごとに7割以上  
〔グローバル社員：実績：0.72% > 0.7%〕等

### ③【評価項目：労働時間等の働き方】

- ◆ 過去1年間の各月の法定時間外労働と法定休日労働の合計時間数が毎月すべて45時間未満  
〔実績：雇用管理区分全て毎月45時間未満〕

### ④【評価項目：管理職比率】

- ◆ 管理職に占める女性労働者の割合が産業平均値以上  
〔実績：女性管理職の割合7.1% > 6.8%〕

### ⑤【評価項目：多様なキャリアコース】

- ◆ 通常の労働者への転換〔実績：3名〕
- ◆ キャリアアップに資するような雇用管理区分の転換〔実績：1名〕
- ◆ 女性の通常の労働者としての再雇用（定年後の再雇用を除く）〔実績：1名〕
- ◆ おおむね30歳以上の女性の通常の労働者としての中途採用〔実績：2名〕

## ～ 女性活躍における積極的な取組 ～

### 株式会社 りゅうせきフロントライン

#### ◆ 女性管理職、役職者の登用

- ・ 2019年10月1日にグループ再編により「3社・5事業・7職種」が合併し設立された経緯があり、正社員女性比率は47.2%となっている。
- ・ 女性活躍を推進するため、「KIZUKI」(きずき)プロジェクトを発足し、グループ再編後の女性社員間の交流促進と、管理職登用試験チャレンジの機運を高める取組を行っている。現在、課長職以上の女性管理職比率は1名(7.1%)で、産業平均値は超えているものの、さらなる女性の管理職増加を目指す。
- ・ りゅうせきグループ全体として、均等法施行当時からトップダウンで女性の登用に取り組み、男女差のない人事制度を県内でいち早く導入し、男女同一の賃金体系や昇格試験等を取り入れている。グループ初の女性社長(故・安里カツ子氏)は、1996年に県経営者協会「女性リーダー部会」を立ち上げ、さらに、県副知事に就任するなど、県内の女性活躍の先進的役割を果たした。
- ・ 現在は、グループ全体の女性幹部がロールモデルとなり、女性社員へ管理職登用試験や資格取得の声かけ、キャリア形成の相談対応など、女性社員の意識向上を図っている。

#### ◆ 長時間労働の削減

- ・ 労働時間管理システムを活用し、定期的に、社員の年休取得状況と残業時間実績を管理職以上に共有している。あわせて計画年休取得(年5日以上)を奨励し会社全体としてワーク・ライフ・バランスがとれた環境づくりに努めている。

#### ◆ ワーク・ライフ・バランスの充実

- ・ 2018年、企業主導型保育所「かなさ保育園」を設置し、りゅうせきグループ社員の子の他、一時預かり保育により、地域の子育て支援を推進する。
- ・ 女性の管理職推進には、車の両輪としての男性の育児休業取得が重要であるという方針から、男性の育児休業取得を促進している(2022年度:男性の育児休業取得割合70%)。